

風

かぜ

カゼ

2004.11-16 No.75

◇今年の報恩講さん

今年の報恩講は雨・風・寒さの心配が全くない快適日でした。新顔の方のお参りも何人かあり、賑々しくそして厳かに正信偈の読誦のもと、報恩講が執り行われました。

今年も山田義俊師に報恩講のお取次ぎをお願いしました。先生からは報恩講のルーツについての抑えを基に、お話しをしていただきました。

報恩講法要が全国の真宗寺院・門信徒にとって一番親しみがあり、大切な年中行事になった礎は、親鸞聖人の曾孫覚如上人が親鸞聖人の33回忌を機に報恩講として位置づけいただいたお蔭によるものです。聖人の恩徳を讃え、報恩の誓いを新たにす法要行事として、定着し現在に至っています。そのパワーは、講を「しなくてはならない」でなく「せずにはおれない」という報恩の念そのものです。本年は数えて743回忌になります。平成23年は親鸞聖人750年大遠忌が盛大にご本山で修行されるとの事です。皆様と共にお待ちしたいものです。

◇今月の安楽寺伝道掲示板

あたりまえは
知識の世界
おかげさまは
智慧の世界

〒105-0014

東京都 港区芝1-12-18 安楽寺

03-3451-1509